

公益財団法人松竹大谷図書館

寄附趣意書

公益財団法人松竹大谷図書館は、演劇・映画の専門図書館である松竹大谷図書館を運営し、所蔵資料を広く一般に無料で公開して、芸術文化の振興と社会文化の向上発展に寄与することを目的とする事業を行っております。

当館は、昭和30年(1955)松竹株式会社の創立者の一人である大谷竹次郎の文化勲章受章を機に財団を設立し、昭和33年(1958)に開館した全国でもユニークな演劇・映画の専門図書館です。

収集している資料は、歌舞伎・新派・新国劇・商業演劇・新劇・文楽・日本舞踊などの演劇関係と映画・テレビなどの映像関係の、プログラム、台本、写真、ポスター、書籍、雑誌などで、市販されていないものも多く、当館でしか見られない貴重な資料を所蔵しています。

特に歌舞伎に関しては、松竹株式会社の製作・興行の現場から継続的に資料の寄贈を受けておりますので、現代の歌舞伎に関する資料は充実しております。

ご承知のように、歌舞伎は世界無形遺産にも登録された日本が世界に誇る舞台芸術です。歌舞伎について知りたい方、研究されたい方はどなたでも当館を利用することができます。

映画に関しては、松竹作品のシナリオは準備稿から完成台本まで製作過程で作られたものを保存しております。もちろん、松竹作品以外の他社の作品の資料も収集に努めております。

このような活動の実績を認められ、営利を目的としない公益性をもった団体として、平成23年5月に公益認定を受け、6月に公益財団法人に移行登記いたしました。

この度、当館の使命である、資料を収集・整理・保存・公開する図書館事業を確実かつ永続的に達成し、さらなる社会貢献をしていくために、寄附金を募ることといたしました。

公益認定を受けた財団法人への寄附金支出者は税制上の優遇措置が受けられます。

何卒、ご理解とご賛同をいただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年4月
公益財団法人松竹大谷図書館
理事長 大谷信義